

診療科目

血液腫瘍内科、免疫膠原病感染症内科

専門医研修指導医

責任者 赤司浩一 教授
 実務者 塚本浩准教授、宮本敏浩講師、下田慎治講師、小田代敬太助教、草場仁志助教、
 有信洋二郎助教、加藤光次助教、赤星光輝助教、鄭湧助教、亀崎健二郎助教、
 有田武史助教、三苫弘喜助教、三宅典子助教、有山寛助教、吉本五一助教、

取得可能な認定医・専門医

全員が取得できるもの : 日本内科学会認定内科医
 希望者が取得できるもの : 日本内科学会総合内科専門医
 専門分野（血液疾患、悪性腫瘍、感染症、膠原病、循環器疾患、肝臓疾患、
 糖尿病）に応じて下記の学会の専門医を取得できます。

日本血液学会、日本臨床腫瘍学会、日本感染症学会、日本リウマチ学会、日本肝臓学会、
 日本循環器学会、日本消化器病学会、日本糖尿病学会、日本消化器内視鏡学会

専門医研修システム

9コースを開設しており、4～5年のコースです。

◆ 臨床コース（専門医取得コース）

1年間の一般内科または専門内科の研修を九大病院または研修病院で行った後、専門内科の研修を九大病院または研修病院で3～5年間行います。専門分野によって専門医取得に必要な研修年限、学会の会員歴、症例数などが異なります。最短期間で専門医を取得できるコースです。

◆ 臨床研究コース(大学院進学コース)

1年間の一般内科研修（日本内科学会認定医受験のための未経験分野の研修）または専門内科研修（将来の研究・診療の専門分野を目指して）を九大病院または研修病院で行った後、医学研究院博士課程（臨床系大学院、基礎系大学院も可能）に進学します。4年間の博士課程の後に医学博士を取得します（3年間の早期終了も可能）。博士課程と並行して専門医取得が可能です。大学院終了後は九大病院または研修病院で専門内科研修を行います。また、留学が可能です（平成25年2月現在8人留学中）。

◆ 血液専門医コース 最短4年

一般内科または専門内科の研修を1年間九大病院または研修病院で行って日本内科学会認定内科医を取得後、九大病院または研修病院で3年間の研修を行い、日本血液学会専門医取得を目指します。九大病院では血液疾患（特に白血病と悪性リンパ腫）の診断と治療（特に造血幹細胞移植）を主に学びます。同時に、臨床研究の実際、および臨床データを基に基礎的研究を行うことの醍醐味を経験することが可能です。関連病院では血液疾患の症例を数多く経験することができます。

◆ 腫瘍専門医コース 最短5年

一般内科または専門内科の研修を九大病院または研修病院で1年間行い日本内科学会認定内科医を取得後、かつ九大病院または研修施設での計5年間の研修（日本臨床腫瘍学会認定研修施設での2年間の研修を含む）で行い、日本臨床腫瘍学会専門医の取得を目指します。九大病院では、消化器癌や肉腫などの固形腫瘍の診断・治療の基礎と臨床試験の実践を学び、同時に上部下部消化管内視鏡検査の修練も行いますので、日本消化器病学会専門医取得を目指すことも可能です。研修病院では消化器癌、乳癌をはじめとする様々な悪性腫瘍の症例を数多く経験することができます。

◆ 感染症専門医コース 最短4年

一般内科または専門内科の研修を1年間九大病院または研修病院で行って日本内科学会認定内科医を取得かつ、九大病院または研修病院での3年間の研修で日本感染症学会専門医取得を目指します。九大病院では当科の症例の診療に加えて九大病院全体の感染制御にもとりくみながら感染症の診断と治療の基礎、臨床研究の実践を学びます。関連病院では様々な感染の症例を数多く経験するとともに病院によっては気管支鏡の修練を積むことができます。

◆ リウマチ専門医コース 最短5年

一般内科または専門内科の研修を1年間九大病院または研修病院で行って日本内科学会認定内科認定医を取得、後、かつ九大病院または日本リウマチ学会認定研修病院での計5年間のリウマチ学の研修で日本リウマチ学会専門医取得を目指します。九大病院では膠原病の診断と治療の基礎、臨床研究の実践を主に学びます。関連病院では様々な膠原病の症例を数多く経験するとともに病院によっては気管支鏡の修練を積むことができます。

◆ 感染症専門医コース 最短5年

一般内科または専門内科の研修を1年間九大病院または研修病院で行って内科認定医を取得後、九大病院または研修病院での4年間の研修で日本感染症学会専門医取得を目指します。九大病院では当科の症例の診療に加えて九大病院全体の感染制御にもとりくみながら感染症の診断と治療の基礎、臨床研究の実践を学びます。関連病院では様々な感染の症例を数多く経験すると共に病院によっては気管支鏡の修練をつむことができます。

◆ 循環器専門医コース 最短4年

一般内科または専門内科の研修を1年間九大病院または研修病院で行って日本内科学会認定内科認定医を取得後、九大病院または循環器学会指定研修病院での3年間の研修で日本循環器学会専門医取得を目指します。大学病院ではハートセンターで循環器内科、心臓外科とともに循環器疾患の診断と治療の基礎を主に学び、心エコー、運動負荷試験、心臓カテーテル検査、カテーテルアブレーションなどの修練をつみます。研修病院では冠動脈疾患を中心とした循環器疾患を数多く経験するとともに冠動脈インターベンションの修練をつむことができます。

◆ 肝臓専門医コース 最短5年

一般内科または専門内科の研修を1年間九大病院または研修病院で行って日本内科学会認定内科認定医を取得後、かつ九大病院または研修病院での計5年間の肝臓専門医研修で日本肝臓学会専門医取得を目指します。九大病院では肝臓疾患の診断と治療の基礎、肝臓移植の管理、臨床研究の実践を学び、腹部エコーやラジオ波治療などの修練も行います。関連病院では肝臓疾患の症例を数多く経験するとともに、病院によっては静脈瘤硬化療法を含む内視鏡的手技を習得することができます。

◆ 消化器専門医コース 最短5年

一般内科または専門内科の研修を1年間九大病院または研修病院で行って日本内科学会認定内科認定医を取得後、かつ九大病院または研修病院での計5年間の消化器専門医研修で日本消化器病学会専門医取得を目指します。九大病院では消化器疾患の診断と治療の基礎、臨床研究の実践を学び、内視鏡検査などの修練も行います。関連病院では消化器疾患の症例を数多く経験することができます。

◆ 糖尿病専門医コース 最短4年

一般内科または専門内科の研修を1年間九大病院または研修病院で行って日本内科学会認定内科認定医を取得後、九大病院または研修病院での3年間の研修で日本糖尿病学会専門医取得を目指します。九大病院では糖尿病患者教育の実践的研修を含む糖尿病の診断と治療の基礎を主に学び、関連病院では糖尿病の症例を数多く経験することができます。

◆ 複合コース 上記専門医コースを複合したものになります。

- (1) 血液・腫瘍複合コース
- (2) 膠原病・心血管疾患複合コース
- (3) 腫瘍・消化器複合コース
- (4) 感染症複合コース



連絡先

電話： 092-642-5228 F A X： 092-642-5247

E-mail： 1naika@intmed1.med.kyushu-u.ac.jp

担当者： 医局長 小田代敬太

診療科HP： <http://www.1nai.med.kyushu-u.ac.jp/>